



1、河合塾 第2回大学入試情報分析報告会

進路だより・第9号に引き続き、今年度の入試における志望動向についてまとめてみました。

(3)『第2回全統共通テスト模試』受験状況

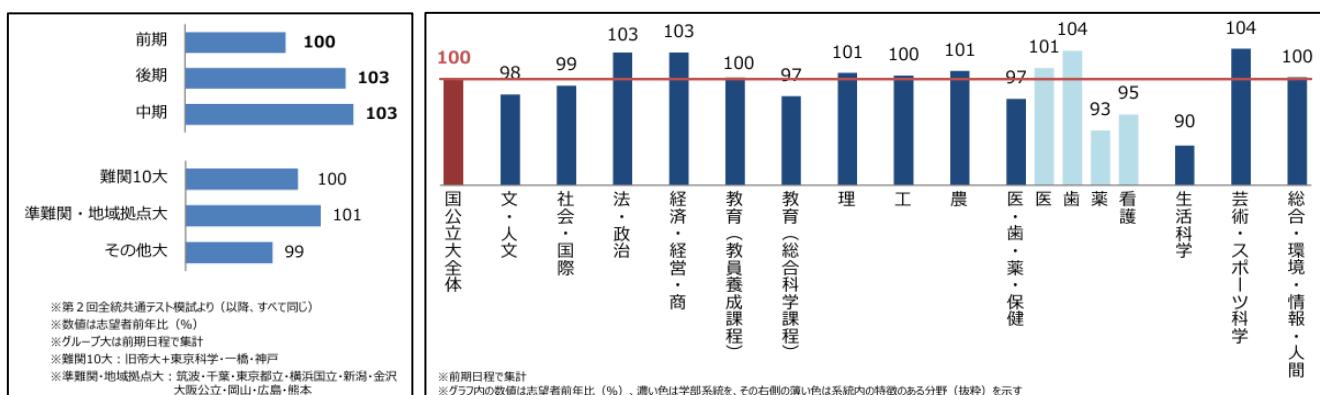
受験状況		2023	2024	2025	24/23	25/24
現卒別	現 役	326,136	327,333	328,129	100.4%	100.2%
	既 卒	300,144	302,021	299,126	100.6%	99.0%
文理別	文 系	25,992	25,312	29,003	97.4%	114.6%
	理 系	168,807	168,652	171,348	99.9%	101.6%
6-8型	文 系	156,297	156,499	154,893	100.1%	99.0%
	理 系	85,190	83,210	84,906	97.7%	102.0%
		127,543	127,975	127,053	100.3%	99.3%

志望校記入状況		2023	2024	2025	24/23	25/24
国公立大志望者数 (頭数)	国公立大志望者数 (頭数)	219,693	221,149	220,541	100.7%	99.7%
	記入率	67.4%	67.6%	67.2%		
私立大志望者数 (頭数)	私立大志望者数 (頭数)	296,924	299,667	302,840	100.9%	101.1%
	記入率	91.0%	91.5%	92.3%		
私立大延べ志望者数	私立大延べ志望者数	1,431,873	1,428,776	1,464,630	99.8%	102.5%
	記入校数/人	4.82校	4.77校	4.84校		
私立大専願者数	私立大専願者数	102,853	102,887	104,662	100.0%	101.7%
	うち共用方式志望者数	51,737	54,010	58,847	104.4%	109.0%

- ①文理別では、文系が毎年減少を続けていましたが、今年は(既卒生も含む)増加しています。
- ②6-8型も増えており、文系人気がうかがえます。

- ③国公立・私立大とも志望者数は前年並みのようです。
- ④私立大の一人当たりの記入校数は、今年は増加しています。
- ⑤私立大専願者のうち、共通テスト方式の志望者数は2年連続で増加しています。

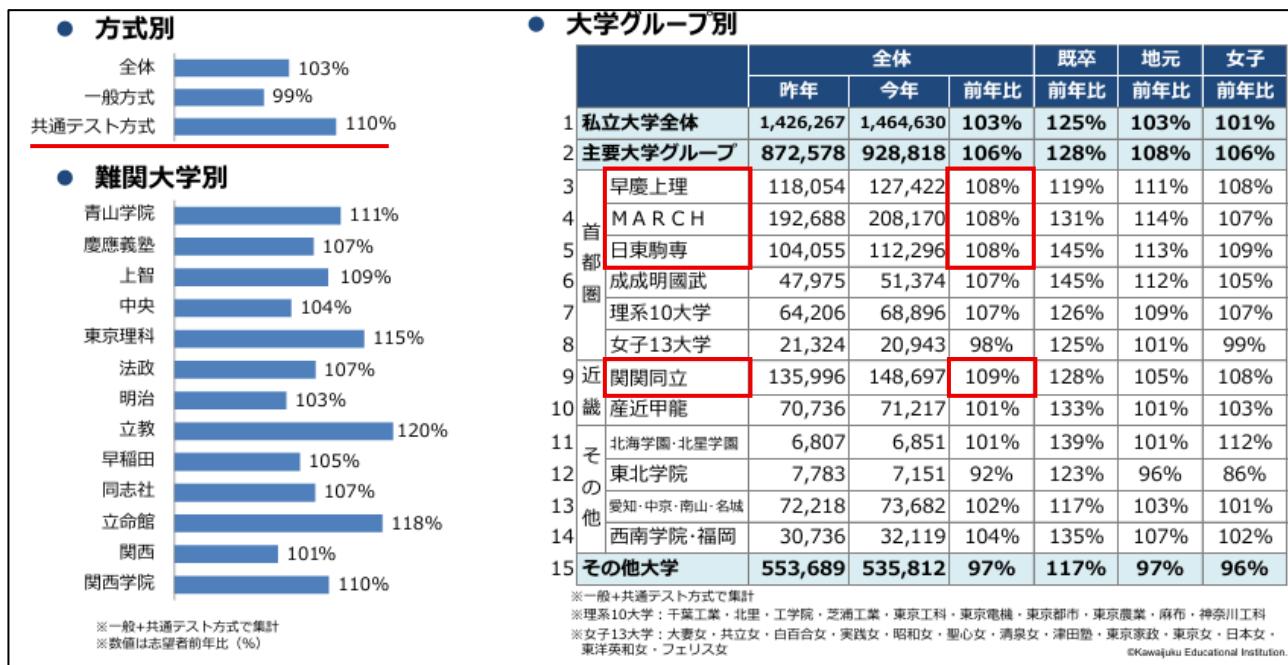
(4) 国公立大 志望動向 (左図)・学部系統別志望動向 (右図)



国公立大の人気は堅調であり、前期日程の志望者数は前年比 100%、後期・中期日程で同 103%といずれも増加しています。

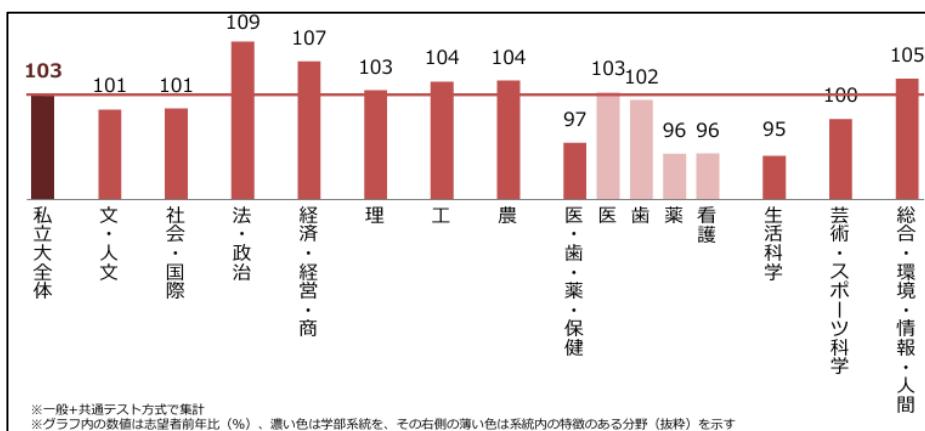
国公立大の系統人気は、(右図) の棒グラフの濃い色は学部系統、その右側の薄い色は各系統内の特徴的な分野の抜粋となります。グラフ内の横線は、前期日程全体の前年比 100%のラインを示しており、このラインより上なら人気、下なら不人気となります。全体的な傾向は、文理均衡となっています。文系では「法・政治」・「経済・経営・商」で前年比 103%と増加し、「法・政治」は女子志望者が前年比 108%と大きく増加しました。理系では「理」・「工」・「農」はいずれも前年並みを維持し、女子志望者の動向を見ると、「理」では前年比 106% (物理: 118%・化学 121%)、「工」は同 104% (機械・航空: 113%) で増加しました。一方、「生活科学」(90%)・「看護」(95%) など、女子志望者の割合が高い系統で志望者が減少しました。

(5) 私立大 志望動向（一般方式+共通テスト利用方式）

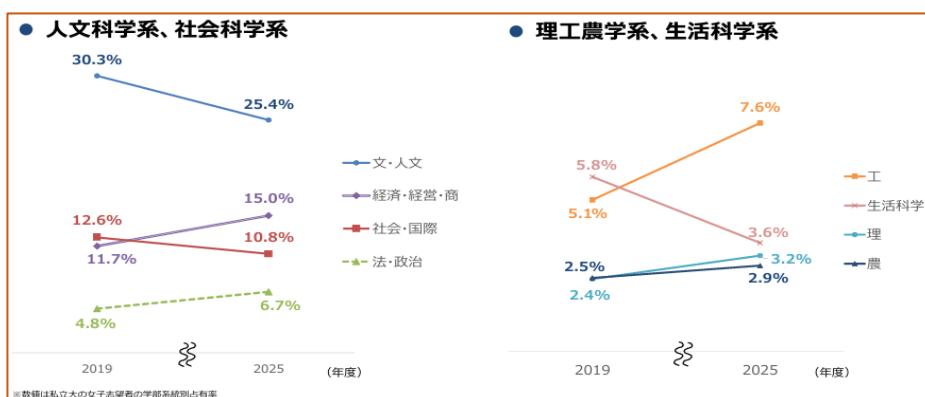


私立大全体の志望校数は前年比 103%と増加し、方式別では、一般方式で前年比 99%、**共通テスト方式で同 110%**に増加しました。グループ別の動向を見ると、首都圏では、**早慶上理・MARCH、日東駒専**とも志望者は前年比 108%、関関同立で同 109%と**都市部の有名大**が人気です。このほか、近年学部再編が相次ぐ**首都圏の女子大の志望者は減少している大学**が多く、不人気が続いています。また、これら有名グループ大以外の私立大全体の志願者も減少、**私立大志望者は有名大志向**となっています。

(6) 私立大 学部系統別の志望動向



濃い色の棒グラフが学部系統、右側の薄い色は各系統内の特徴的な分野の抜粋です。グラフの横線は、私立大全体の前年比 103% のラインを示しており、**国公立大の志望動向とほぼ同様**です。



左図の女子の志望系統が多様化しており、工学系 5.1%→7.6%に上昇し、生活科学 5.8%→3.6%と下降しており、占有率が逆転しました。**女子の志望系統は多様化**しています。

(7) MARCH 全体志望動向

大学名	一般方式			共通テスト方式			合計		
	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比	昨年	今年	前年比
MARCH	125,293	130,111	104%	67,395	78,059	116%	192,688	208,170	108%
明治	37,815	37,089	98%	17,633	19,866	113%	55,448	56,955	103%
青山学院	16,272	17,578	108%	13,561	15,639	115%	29,833	33,217	111%
立教	20,038	22,988	115%	12,295	15,711	128%	32,333	38,699	120%
中央	21,690	21,844	101%	12,064	13,104	109%	33,754	34,948	104%
法政	29,478	30,612	104%	11,842	13,739	116%	41,320	44,351	107%

MARCH 全体志願者は、**前年比 108%と増加した**。今春入試でも志願者は増加傾向であったが、今年度の模試動向を見ても、**さらに志願者が集まっている**ようです。特に、共通テスト利用方式の志願者は前年比 116%（立教：128%）と、一般方式の志願者と比較し、大きく増加しました。進路だより・第9号でも紹介した、**定員厳格化の緩和による合格者数の絞り込み**によって、**難化する可能性**も想定しておかなければなりません。

(8) MARCH 全体志願者数（上図）・実態ボーダー以上志願者（下図） 増加募集区分 TOP10

【共通テスト利用方式】

■ MARCH 全体志願者 増加募集区分 TOP10				※新設の募集区分は除く				※太字は志願者・上位者ともに増加の募集区分			
大学	学部	募集区分名	日程方式名	志願者				実態ボーダー以上志願者			
				昨年	今年	前年差	前年比	昨年	今年	前年差	前年比
1 明治	経営		前期 3科目	1,084	1,628	544	150%	70	108	38	154%
2 立教	経営	経営	3科目型	867	1,258	391	145%	88	139	51	158%
3 法政	法	法律	B方式3教科	723	1,012	289	140%	129	224	95	174%
4 法政	経営	経営	B方式3教科	794	1,066	272	134%	113	152	39	135%
5 立教	異文化コミュニケーション	異文化コミュニケーション	3科目型	782	1,028	246	131%	78	87	9	112%
6 青山学院	経営	経営	個別学部A方式	843	1,080	237	128%	119	145	26	122%
7 法政	経済	経済	B方式3教科	664	888	224	134%	132	229	97	173%
8 立教	法	法	3科目型	583	784	201	134%	142	177	35	125%
9 中央	法	法律	単独3教科型	876	1,074	198	123%	142	197	55	139%
10 立教	経済	経済	3科目型	771	962	191	125%	118	178	60	151%

■ MARCH 実態ボーダー以上志願者 増加募集区分 TOP10				志願者				実態ボーダー以上志願者				ボーダー得点率		
大学	学部	募集区分名	日程方式名	昨年	今年	前年差	前年比	昨年	今年	前年差	前年比	26予想	25実態	差
1 中央	法	法律	単独5教科型	857	981	124	114%	426	535	109	126%	81	82	-1
2 法政	経済		B方式3教科	664	888	224	134%	132	229	97	173%	80	79	1
3 法政	法	法律	B方式3教科	723	1,012	289	140%	129	224	95	174%	84	84	
4 明治	商	商	前期 6科目	389	518	129	133%	126	214	88	170%	83	82	1
5 明治	法	法律	前期 3科目	976	1,136	160	116%	207	282	75	136%	85	85	
6 明治	政治経済	経済	前期 7科目	630	708	78	112%	174	236	62	136%	83	83	
7 立教	経済	経済	3科目型	771	962	191	125%	118	178	60	151%	85	84	1
8 中央	法	法律	単独3教科型	876	1,074	198	123%	142	197	55	139%	86	88	-2
9 立教	経営	経営	3科目型	867	1,258	391	145%	88	139	51	158%	89	88	1
10 明治	理工	建築	前期 4教科	625	659	34	105%	52	93	41	179%	86	85	1

注) 実態ボーダー以上：合格の可能性が約 50%、模試の判定は「C判定」（あくまでも目安です）

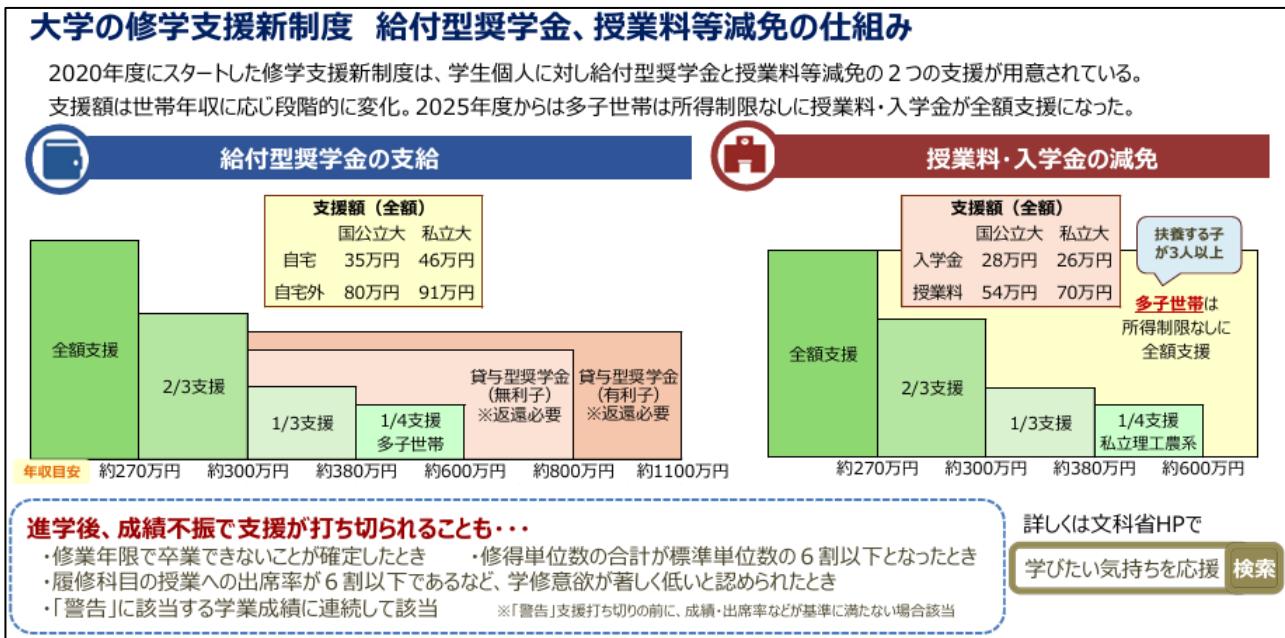
注) 前年比の増加は、平均点の上昇を考慮し、ボーダー得点率は急激な上昇をさせていない

太字のものは、**【全体志願者数が増加 + 実態ボーダー以上の上位層が増加】** している区分となります。特に、**法政・法・法律 (B方式3教科=共テ利用)** の今春の入試結果において、**志願者前年比 142%・実態ボーダー得点率が8ポイント上昇** したようで、今年度の入試もボーダーはあまり下がらないと推測されます。合否ボーダー付近での競争が、一層厳しくなることが予想されます。

前年までの感覚に頼らず（例：「得点率 70 点後半とすれば、合格できるだろう」）、各大学の志願動向を把握し学習に取り組むことが大切です。3年生は、受験本番が近づく中で、模試の結果を参考に自分の学力について自己分析し、志願校合格に向けて頑張ってください。

※参考

下図を参考に、大学の修学支援新制度についてご確認をお願いします。詳細は、文科省HPで「**学びたい気持ちを応援**」と入力し検索をしていただくと、確認できます。



※文部科学省HP



学びたい気持ちを応援します 高等教育の修学支援新制度 - 文部科学省

<https://www.mext.go.jp/kyufu/>



奨学金制度について・電話：0570-666-301（ナビダイヤル）海外からの電話、---